

細越工務店
お問い合わせ **NO. 1**

耐震診断

昭和56年5月31日以前の木造住宅は、
現在の耐震基準を満たしておらず、
大地震で倒壊する恐れがあり大変危険です。

昭和56年6月1日～平成12年までの物件も
診断する必要性はあります。(ご注意を)

耐震診断費用 通常50,000円が
自治体による補助金を使えば、
5,000円
で受けられます。

家も人間(あなた)と同じ
健康診断が必要
おまかせください



私が診断いたします
NPO法人
住まいの構造改革推進協会
正会員(NO2-0483)



耐震技術認定者 **細越昇** 建築士

300件以上の実績のある
(株)細越工務店に
お任せ下さい<m(__)m>

お問い合わせ **NO. 3** 住まいの健康診断
インスペクション

■屋根調査

■床下調査

■外壁調査

■浴室調査

■傾きなどの調査

■ベランダ調査

■屋根裏調査

インスペクションとは

耐震診断士やインスペクターに建物全体調査を依頼し、
総合的にプロの診断を受けること。

診断士による劣化・診断の結果、家の弱点を知る

↓
家族会議をする

今後、誰とどのように住むかのリフォーム計画を
たてましょう。安全・安心に住むための耐震改修
工事と共に、健康で快適に暮らすために、予算に
合ったリフォームを行ないましょう。

建物の状況
※築30年以上居住(昭和56年5月31日以前は旧耐震基準)
※築15年以上居住(平成12年建築基準法の改正)
住んでいる人の状況
※結婚・子育て(育児・就学・進学・独立)
※同居(2世帯同居・高齢者との同居)
※中古物件を購入(建築確認書や設計図面がある)

↓
今後の建物と住人の希望や予定

↓
性能向上リフォーム

↓
適切なメンテナンス

なんでも気軽に相談できる、地域のホームドクター
がいれば安心ですね。

安心・安全・快適な住まいは資産価値を高めます。
住み継がれる優良な家づくりを進めましょう。

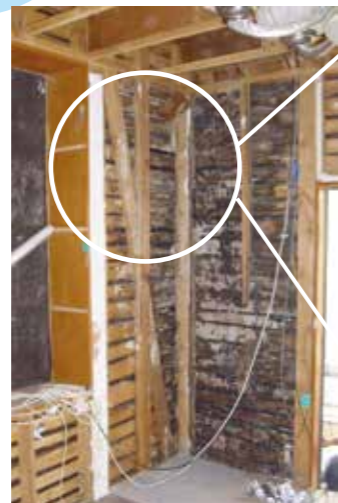
細越工務店
お問い合わせ **NO. 2** 雨もい診断



一番雨漏りの多い
箇所としてはココです

見えなところで
忍びよる腐朽菌

こちらは、屋根を葺き替える工事と水回りを全てやり直す工事でした。その際内壁をめくった時、柱や土台、外壁を支えている板が見事に腐朽菌におかされていたんです。原因は地震の際に出来た外壁のひび割れからによる雨水の進入でした。もちろんすぐに補修しました。今まで家の中に雨漏れがあったのか何と、ないとの事でした。壁の中の外壁面に沿って雨水が浸入していたので、気がつくこと無く住まわれておりました。本当に恐ろしい雨漏りでした。



解体後:めくってみてビックリ!!
白蟻被害は無いものの
それよりも恐ろしい現象が...



壁の中の様子

なんと柱も土台も家と外壁を支える木材も腐っているのではないですか、これは長年にわたり壁伝いに雨水が浸入していました。黒い部分が腐り果てた部分、白い部分は木材を腐らせる腐朽菌です。水と湿気が多い場所に繁殖する恐ろしい菌です。

屋根など危険な場所の
点検や、住宅に関するどんな
小さなことでもお任せ下さい。

皆さん、ご存じですか? **給湯器の寿命!!**

給湯器内部とは? 銅管が入っていて、内部に水が流れるようになっています。そして、その銅管をガスの炎で熱することでお湯を沸かします。

さて寿命の目安とは、給湯器を**3,650時間**(1日1時間使用するとして、10年)使用することで銅管が劣化し(悪くなっていき)、穴が出来て故障するということで**寿命**となります。皆さん如何でしょうか? 給湯器購入後の使用時間をおよそで良いので計算してみれば(^_^) ご用命は弊社までお願い致します<m(__)m>



ありがた〜い お言葉

ゆっくりで良い(^o^)
ゆっくりは良いことだ。

仕事や生活や遊びの中で、大きな壁に当たった時に、ただゆっくりするのではなく、絶対に逃げ出さず、あきらめない意識をもってゆっくり確実にするということが大切だと思います。

by細越

元氣保ちゃん 建築用語

さばお **鯖の尾**

鯖の尾に似ているところからこう呼ばれます。社寺開き門扉などに打ち付ける装飾用の金具(八双)

金物)で、魚尾形に入り込んだ形のもので、重量のある大きい門扉を吊り元だけで負担するのではなく丁番を短冊形にすることにより、支持位置を広げる工夫にも通じて理にかなっています。

